

～ 将来世代に引き継ぐ琉球弧の自然 ～

琉球弧自然フォーラム2011

基調講演

「世界遺産の現状と今後 —自然遺産を中心に—」

松浦晃一郎
前ユネスコ事務局長

報告・提言

沖縄県文化環境部自然保護課「生物多様性地域戦略策定に向けて」
鹿児島県環境林務部自然保護課「奄美地域での取組み」
那覇自然環境事務所「これまでの琉球弧自然フォーラム」
小野寺浩 鹿児島大学学長補佐「世界遺産と国立公園」

パネルディスカッション

テーマ：将来世代に引き継ぐ琉球弧の自然



琉球弧での各地域の取組み報告を
交えながら世界自然遺産を
見据えた持続可能な地域づくりに関し、
今後の取組の方向を模索していきます。

日時

3月12日(土)
13:50～17:00
受付開始 13:20

参加無料

場所

沖縄県市町村自治会館「自治会館ホール」
※裏面をご覧ください。

参加申込み

参加ご希望の方は、氏名、所属、連絡先を明記の上、
3月10日(木)までにメール又はFAXにてお申し込み下さい。
※ 会場の都合上、参加希望者が多数の場合、先着順といたします。

申込先

株式会社ネクストアイ 尾崎
メール info@next-eye.co.jp
TEL 045(509)1440 FAX 045(509)1172

主催：環境省那覇自然環境事務所、沖縄県、鹿児島県

問い合わせ先：環境省那覇自然環境事務所 一瀬 TEL 098(858)5824

「琉球弧」

の島々は、本州や大陸とつながったり離れたりを繰り返したことにより、各島々で独自の生態系の進化が見られ、世界的にも貴重な地域であることから、平成15年に世界自然遺産の候補地に選定されています。

琉球弧自然フォーラムは、世界自然遺産登録推進を視野に入れ、琉球弧の豊かな自然を引き継ぐことの重要性を広く知らせるために平成18年度より開催してきました。

この5年間、エコツーリズム活動の活発化、西表「石垣」国立公園の誕生、奄美地域の国立公園化に向けた検討開始などの様々な動きに加え、生物多様性条約COP10を契機に生物多様性への要請もますます高まっています。

今回のフォーラムは、琉球弧の中核地域である奄美、やんばる、西表地域の関係者の交流を図るとともに、地域の自然の価値の高さを広く知らせる機会とし、これまでの取組みを振り返り総括します。



基調講演・パネルディスカッション 出演者紹介



基調講演

松浦 晃一郎 前ユネスコ事務局長

1937年山口県出身。59年東京大学法学部を中退後、外務省入省。61年米国ハヴァフォード大学経済学部卒。経済協力局長、北米局長、外務審議館（先進国サミットのシェルパを兼ねる）を経て、94年より駐仏大使。98～99年世界遺産委員会議長を務め、99年から2009年までアジア初のユネスコ事務局長（第8代）を務める。現在はパソナ特別顧問等。在任中はユネスコの組織改革を断行し、米国の加盟復帰実現や、無形文化遺産保護条約の策定など多くの業績を残している。『ユネスコ事務局長奮闘記』『世界遺産 ユネスコ事務局長は訴える』『私たちの世界遺産〈4〉新しい世界遺産の登場（共著）』など著書多数。

パネルディスカッション

コーディネーター

土屋 誠 琉球大学理学部教授

パネリスト

佐滝 剛弘 ジャーナリスト『「世界遺産」の真実』著者

安村 茂樹 WWFジャパン南西諸島プログラムリーダー

大久保 明 伊仙町長（奄美地域）

宮城 馨 国頭村長（やんばる地域）

川満 栄長 竹富町長（西表地域）

プログラム

フォーラム

13:50 開会

14:00 基調講演

「世界遺産の現状と今後－自然遺産を中心に－」

前ユネスコ事務局長 松浦晃一郎 氏

15:00 沖縄県文化環境部自然保護課「生物多様性地域戦略策定に向けて」

鹿児島県環境林務部自然保護課「奄美地域での取り組み」

那覇自然環境事務所「これまでの琉球弧自然フォーラム」

小野寺浩 鹿児島大学学長補佐「世界遺産と国立公園」

15:45 パネルディスカッション

16:55 閉会

※フォーラム終了後、18:00より会場4階にてレセプション（交流会：会費制）を開催します。

会場案内図

沖縄県市町村自治会館

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 TEL.098-862-8181

モノレール旭橋駅より 徒歩5分

那覇バスターミナルより 徒歩3分



カーナ旭橋パーキング

自動発券、自動精算方式の自走式立体駐車場 175台収容/24時間営業

■駐車場料金

●最初の30分まで ……150円 ●最初の1時間まで ……250円
●1時間以降、30分ごと…100円